

大学生のオープンウォーター講習における生きる力の変容

○山下雅彦(福山平成大学)

I. 目的

わが国は、中緯度帯に存在して南北に延び四方を海に囲まれた島国で、海岸線 34,000km 余りを持つ、環境的には海洋スポーツ・レクリエーション活動の場に恵まれた特徴をもっている。中でも、スクーバダイビングは、SSF(2006)の調査によれば大学生が今後行いたい運動・スポーツの上位種目である。また、教育的潜在能力が高く、ストレス解消の効果に優れていると報告されている。

そこで、本研究では、2泊3日のオープンウォーター講習が受講した学生の「生きる力」の変容について検討していく。

II. 方法

1. 調査対象

調査対象は大学生 28 名(男子 17 名, 女子 11 名)であった。

2. 講習概要

講習内容は、指導団体 PADI オープンウォーター講習のプログラムに沿って平成 18 年 6 月 13, 20, 27 日に学科講習を大学学内で行い、7 月 7 日～9 日の 2 泊 3 日で、高知県柏島において海洋実習を実施した。

講習以外の行動計画は全て受講者全員で計画を立てるとともに、宿泊についてはテント泊とし、食事は自炊を行なった。

3. 調査方法

調査は、Pre-test として実習出発前に、Post-test として大学到着後に行った。「IKR 評定用紙」による評価とともに、自由記述による評価も行い、学生のスクーバダイビングへの印象をとらえる手段とした。なお、統計処理にはエクセル統計 2006(アドインソフト)を用いた。

4. 「IKR 評定用紙」

橘らは(2003)、長期自然体験村で小中学生を対象に行ったキャンプに対して、「IKR 評定

用紙」を用いて評価を行い、「生きる力」の変容に焦点をあてたキャンプの評価およびキャンプの環境条件やプログラムの差異から生じる変化について報告している。この報告では、「生きる力」を伸ばすキャンプとそうでないキャンプが存在することが示され、プログラムの違いによって、キャンプの効果に差が出ることを客観的に指摘している。「IKR 評定用紙」は 14 の下位尺度ごとに 5 つの質問が用意され、70 からなる質問項目で構成されている。そして、14 の下位尺度は 3 つの中間尺度でまとめられ、これら 3 つの尺度をまとめたものを「生きる力」とし、この「生きる力」を測定するために作られた評定用紙である。

「IKR 評定用紙」の評価 1～6 をそれぞれ、5 点～0 点とし、70 項目の質問の合計点を求め、参加者全員の得点をもとに平均点を求め、講習前後で比較した。なお、各下位尺度 5 項目のうち、1 項目は反転項目としているため、それらについては、評価の 1～6 について、それぞれ 0 点～5 点を配点した。

III. 結果および考察

1. 「IKR 評定用紙」による総合評価

評価の結果は、図 1 に示すとおりとなった。講習開始前の得点は 132 であったが、講習終了時には 269 となり、有意に得点が向上した ($p < 0.01$)。

このことから、受講した大学生に対して、2 泊 3 日と短期ではあるが、ダイビングの効果として、生きる力の全体にわたって好ましい影響を与えたと考える。

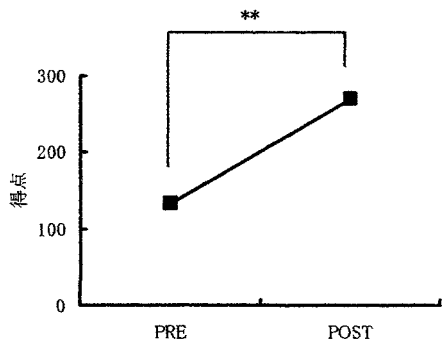


図1 生きる力得点の変化

**p<0.01

2. 下位尺度の変化による評価

14項目からなる下位尺度の変化は図2に示すとおりとなった。図から明らかとなっており、すべての指標において、受講後の得点が上昇し、その上昇が統計的に有意であった(p<0.01)。

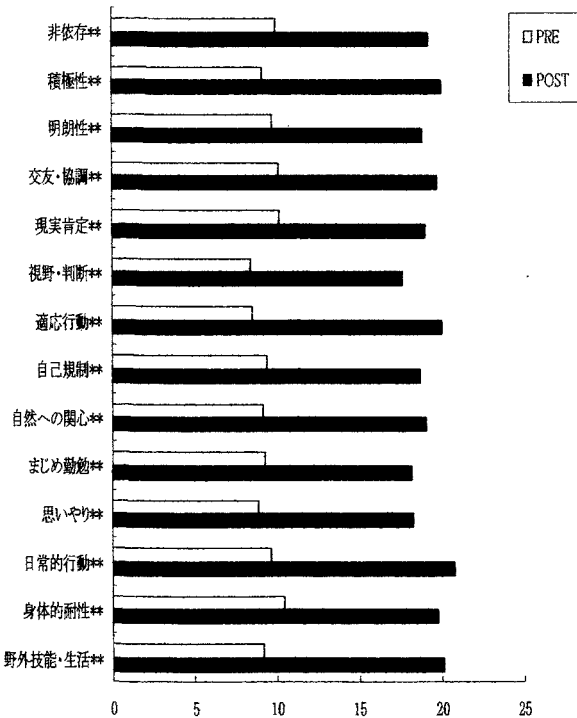


図2 生きる力各指標の実習参加前後の比較

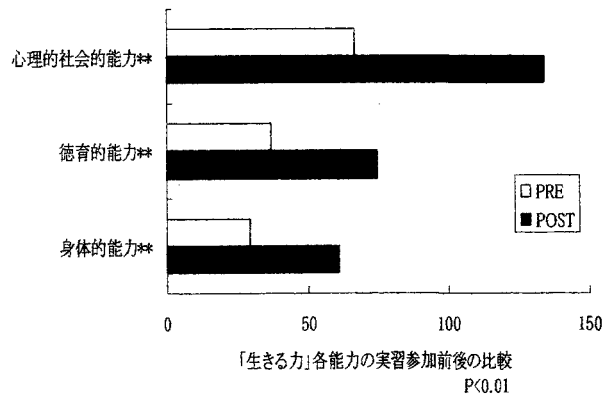
**p<0.01

このことから、海中、海底と閉ざされた自然環境と制限された動きなど、様々な課題を克服しながら行ったことで、オープンウォーター講習をとおして自然のすばらしさを体感していることが窺える。

3. 中間尺度からみた評価

下位尺度の1から7の心理的社会的能力、8から11の徳育的能力、そして、12から14の身体的能力の視点からみた評価が図3である。図に示すとおり、すべての項目において、講習実施後の得点は増加しており、その増え方は統計的に有意であった(p<0.01)。

この結果から、2泊3日という短期ではあるが、受講生にとって、これらの能力を向上させる上で十分な影響力を与えることが示唆された。



「生きる力」各能力の実習参加前後の比較
P<0.01

IV. まとめ

1. 本報で調査した「IKR 評定用紙」による評価は、講習実施後、有意に上昇しオープンウォーター講習が「生きる力」を上昇させる意味で有効であることがわかった。
2. 「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の3上位指標すべてで有意に上昇が認められ、オープンウォーター講習においてこれらの能力を高めることがわかった。